

# 2023年4月開学予定

## 起業家育成の専門職大学

### グローバルBiz専門職大学

外語ビジネス専門学校（川崎市）を母体とする学校法人深堀学園は、国際物流や貿易の拠点となっている川崎市に、起業家育成を担う専門職大学「グローバルBiz専門職大学」を来春開学予定だ。

それに先立ち9月21日、川崎商工会議所（川崎市）



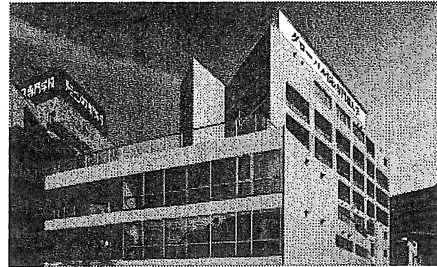
学びの特徴や今後の展望が明かされた

において、メディア関係者を招き記者会見を開いた。学校法人深堀学園の深堀和子理事長、グローバルBiz専門職大学の平岩賢志学長、川崎商工会議所の草壁悟朗会頭、公益社団法人川崎市産業振興財団の三浦淳理事長、川崎市まちづくり局の藤原徹局長が出席し、特色や今後の取り組みについて説明した。

同専門職大学では、グローバルビジネス学部グローバルビジネス学科を設置し、首都圏を主な学修フィールドとした学びを展開していく。

グローバルビジネスの現場で求められる「経営力」「語学力」「コミュニケーション能力」が身につく学びを推進することで、「国際」「DX」「貿易」「流通業界」を牽引する起業家やイノベーションを起すリーダー、斬新な発

JR・京急「川崎」駅に近い立地条件の良さも特徴の一つ



想力と豊かな想像力を持ちながらリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指す。

同専門職大では、「実学」に重きを置いている点が大きな特徴として挙げられる。カリキュラムの3分の1を実技や実習事業が占めており、4年間で600時間のインターンシッププログラムが組まれている。航空会社・貿易会社・総合商社・IT系企業・国際系企業などといった、首都圏の企業を中心に学生はインターンシップに参加。専任の教授が全実習の産学連携と学生管理を担当し、実務を通して

企業で求められる専門的な知識や技術を修得していく。

また、最終学年の4年次では、総まとめプロジェクトとして「事業創生実習」を実施。全学生が講義・実習・インターンシップに取り組みこつとで、実務課題の捉え方や課題解決に向けたアプローチ方法を身につけていく。4年間のさまざまなプログラムを通して、自ら起業プランを立案しチームで課題に取り組み力を養っていく構えだ。

これまで川崎市南部では私立大学が設置されておらず、アカデミックな教育機関が長年要望されていたのだという。今回、文部科学大臣から設置認可を受けたことで、より高度な実践力を有する学生が同市の経済や産業の柱となることが期待される。

「本学での学びでは高い英語力やビジネスに関する知識が求められる。意欲の高い学生に入学して欲しい」と、深堀理事長。平岩学長は「自分の力で何かを成し遂げたいという思いを持つ方の入学を待ち望んでいる」と、続けた。